

定例記者会見（8月）次第

令和3年7月29日（木）
午前11時～
第三委員会室
市長公室広報広聴係

<出席者>

酒田市／市長

総務部長、危機管理監、企画部長、地域創生部長、健康福祉部長、
教育次長、危機管理課長、企画調整課長、都市デザイン課長、
商工港湾課長、健康課長、社会教育文化課長

酒田記者クラブ／各社

幹事社／山形新聞社、YBC（7月・8月）

1 開 会

(1) 発表事項

第27回酒田市土門拳文化賞受賞者決定のお知らせ（社会教育文化課）

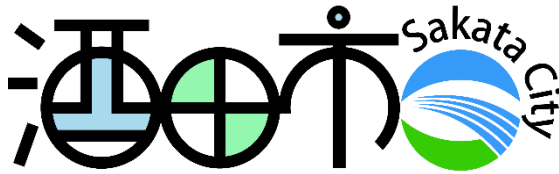
(2) 代表質問・フリー質問 [幹事社]

(3) その他

2 閉 会

◆その他配布資料

- ・カーボンニュートラルシンポジウム形態を一部変更して開催します
(商工港湾課)



令和3年7月29日

酒田記者クラブ加盟社 各位

第27回酒田市土門拳文化賞受賞者決定のお知らせ

「酒田市土門拳文化賞」は、本市出身の世界的な写真家・土門拳の芸術文化への功績を記念し、写真文化、写真芸術の振興を目的に平成6年6月に創設された賞です。27回目を迎えた今回は、全国35都道府県の124人から128テーマの作品が寄せられました。

去る6月11日（金）、本市において選考委員会を開催し、次のとおり受賞者が決定したので、お知らせいたします。

なお、授賞式は9月5日（日）午前10時から土門拳記念館において開催いたします。

【酒田市土門拳文化賞】（1点）

「^{ふくしまさいしじゆんれい}福島祭祀巡礼」（カラー 30枚組）

^{すず}鈴木 ^{わたる}渉 氏（68歳） 埼玉県入間市

【酒田市土門拳文化賞奨励賞】（3点、受付順）

（1）「^{げんぱつじこひなん}原発事故避難 いまだ先行き見えず」（モノクロ 30枚組）

^{うさ}宇佐見 ^{ふじ}富士夫 氏（67歳） 福島県須賀川市

（2）「^{わら}つくり笑いが^{うま}上手くなりました」（モノクロ 30枚組）

^{なかた}中田 ^{ななめ}萼 氏（44歳） 三重県桑名市

（3）「^{かづ}潜伏キリシタン考」（モノクロ 30枚組）

^{よしなが}吉永 ^{ともなひ}友愛 氏（76歳） 長崎県長崎市

お問い合わせ

酒田市社会教育文化課 佐々木

TEL24-2982 FAX23-2257

Eメール art@city.sakata.lg.jp

1 選考委員

江成 常夫 氏 写真家 九州産業大学名誉教授
大西 みつぐ 氏 写真家
藤森 武 氏 写真家 (公財) さかた文化財団学芸担当理事

2 選考結果

○酒田市土門拳文化賞（1点）

「^{ふくしまさいしじゆんれい}福島祭祀巡礼」（カラー 30枚組）
^{すずき}鈴木 ^{わたる}渉 氏（68歳） 埼玉県入間市在住

○酒田市土門拳文化賞奨励賞（3点、受付順）

- (1) 「^{げんぱつじこ}原発事故避難 いまだ^{まき}先行き見えず」（モノクロ 30枚組）
^{うすけ}宇佐見 ^{ふじ}富士夫 氏（67歳） 福島県須賀川市
- (2) 「^{つくり}つくり^{わらい}笑いが上手くなりました」（モノクロ 30枚組）
^{なかつ}中田 ^{かづめ}要 氏（44歳） 三重県桑名市
- (3) 「^{もんがく}潜伏キリシタン^{こう}考」（モノクロ 30枚組）
^{よしなが}吉永 ^{ともなり}友愛 氏（76歳） 長崎県長崎市

3 今後のスケジュール

- (1) 授賞式 9月5日（日）午前10時～ 会場：土門拳記念館
- (2) 受賞作品展 9月4日（土）～10月3日（日）会場：土門拳記念館

4 選考委員講評

<総 評>

江 成 常 夫

世界的なデジタル化が急速に進むなか、表現の上でも価値観や方法論が新たな動きを見せています。人間の欲望は新たな思考が善であれ悪であれ、煩惱が絶えない限り止まることはないでしょう。そのもとで戦後カオスの時代、「写真リアリズム」を確立した土門拳を顕彰した写真文化賞を、どう位置づけ社会に貢献していくかは、写真文化を高めていく上で大きな課題です。

コロナ禍が世界を襲うもとの、応募数が懸念されましたが、今回も例年にほぼ並ぶ128テーマが寄せられました。作品は10年を迎えた東日本大震災をはじめコロナ禍、高齢化社会にあって、生と死を通しての人間の尊厳を真摯に見詰めた「時代と社会の鏡」とした秀作が目を引きました。本賞と奨励賞を決めるに当たって、一次二次三次と絞り込んだ候補作は、どの作も甲乙つけ難く、例年通り悩まされましたが、社会と時代を踏まえたテーマ性に加え、撮影とプリント技術を総合的に議論し、本賞と奨励賞三作が決定しました。

<土門拳文化賞受賞作品について>

藤 森 武

◆「^{ふくしまさいしじゆんれい}福島祭祀巡礼」^{すず}鈴木^き木^{わたる}渉氏

鈴木さんは東日本大震災の2年後から、福島県東部を中心にした祭りを記録してきた。祭りを写すことで復興を祈願することになるのではとの思いからだった。

しかし被災者(祭人)こそが巡礼者なのだ気付いた。今回は祭人中心の写真選定をし、巡礼者となった。被災地の風景や心の内面を想像しながら記録したことも成功している。

土門拳のリアリズム写真論の中に「モチーフとカメラの直結というのは、モチーフと一緒に寒さに凍え、暑さにあえぎ、飢えに泣くということでもあります。モチーフに対して“うわのそら”であって、どうして人を感銘させる作品を生むことが出来ましょう。」というコメントがある。

作家は同テーマで7年応募を続け、執念で文化賞をもぎ取った。

<土門拳文化賞奨励賞受賞作品について>

大 西 みつぐ

◆「^{げんぱつじ こひなん}原発事故避難いまだ先行き見えず」^{うさみ}宇佐見^{ふじお}富士夫氏

福島県双葉郡富岡町に暮らしてきた作者は被災者としての日常、一時帰宅、家財の処分など辛い出来事の途上でありながら、カメラを持つ人間として克明に現状を記録している。生活者の視点から捉えられた映像が何よりも説得力を持つのは、そこに映し出された山や田圃や海や駅舎や街並みに「愛しさ」の情が注がれているからだ。原発事故とはなんだったのか、そして「復興」の現在はどこにどのようなようにあるものか。写真群の問いかけに耳を傾けたい。

◆「^{わら}つくり笑いが^{うま}上手くなりました」^{なかつ}中田^{かなめ}要氏

コロナ禍の日常に私たちはカメラをどのように介入させていけるものか。写真家は皆考えねばならなかった。自己に向き合い現在を見つめるだけでなく、身近な人の存在とともに、明日に続く生きる希望をなんとか描いてみようと思われたはず。奇妙なタイトルに思えるこの作品の輝きは、そこに奥さんの存在があり、お互いの葛藤や信頼とともに、日々を紡ぎだしていこうという能動的な写真行為が伺える。モノクロの陰影にそれらを託している。

◆「^{せんぶく}潜伏キリシタン考」^{こう}吉永^{よしなが}友愛^{ともなり}氏

遠藤周作の小説「沈黙」の舞台となった長崎外海(そとめ)地方を中心に、ライフワークとして時間をかけ取材してきた重厚な作品。2世紀半に渡る禁教の年月の中で生きてきた先人の苦難の道を切々と辿るカメラアイは、信仰を糧として土地を愛し暮らしてきた民の歴史を丁寧に描きだしている。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」は世界遺産に登録されているが、観光要素の彩りを抑えたモノクロ写真は地域を照らすアーカイブとして残っていくだろう。

5 応募状況

年度	回	応募者数（男・女・不明）	テーマ数（モノクロ・カラー・混合）	作品枚数	都道府県
R 3	27	124 (96・28・0)	128 (51・72・5)	3,391	35
R 2	26	138 (106・29・3)	145 (54・90・1)	3,861	37
R 元	25	137 (104・33)	143 (61・77・5)	3,885	35
H29	24	131 (100・31)	146 (80・60・6)	3,923	36
H28	23	131 (111・20)	143 (56・75・12)	3,879	36
H27	22	135 (110・25)	143 (52・83・8)	3,892	35
H26	21	117 (98・19)	130 (64・62・4)	3,446	33
H25	20	128 (105・23)	140 (50・78・12)	3,632	41
H24	19	147 (121・26)	155 (63・79・13)	3,981	36
H23	18	156 (141・15)	161 (53・102・6)	4,179	41
H22	17	144 (127・17)	151 (68・79・4)	3,867	37
H21	16	136 (107・29)	154 (53・93・8)	2,979	35
H20	15	127 (112・15)	134 (43・89・2)	2,902	36
H19	14	147 (121・26)	155 (56・94・5)	3,442	40
H18	13	101 (81・20)	116 (57・53・6)	2,861	30
H17	12	111 (87・24)	117 (66・48・3)	2,999	32
H16	11	124 (95・29)	124 (51・69・4)	2,848	36
H15	10	110 (92・18)	120 (56・61・3)	2,849	29
H14	9	103 (84・19)	109 (49・54・6)	2,808	30
H13	8	136 (114・22)	142 (68・68・6)	3,311	35
H12	7	115 (97・18)	124 (75・47・2)	3,006	38
H11	6	119 (96・23)	127 (67・58・2)	2,739	34
H10	5	139 (108・31)	150 (74・71・5)	3,134	36
H 9	4	138 (110・28)	151 (82・67・2)	3,144	37
H 8	3	151 (124・27)	170 (80・86・4)	2,835	34
H 7	2	104 (93・11)	114 (50・59・5)	1,938	34
H 6	1	108 (103・ 5)	130 (62・66・2)	2,453	37

お問い合わせ／酒田市社会教育文化課 佐々木和夫

☎0234-24-2982 FAX0234-23-2257

Eメール art@city.sakata.lg.jp

第 27 回酒田市土門拳文化賞受賞作品

ふくしまさいしじゅんれい
「福島祭祀巡礼」

すずき
鈴木

わたる
渉 (埼玉県入間市)



第 27 回酒田市土門拳文化賞奨励賞受賞作品 (3 点)

げんぱつじ こひなん
「原発事故避難 ^{さきゆ} いまだ先行き見えず」 ^{うさみ} 宇佐見 ^{ふじお} 富士夫 (福島県須賀川市)



「つくり笑いが上手くなりました」 ^{うま} 中田 ^{かなめ} 要 (三重県桑名市)



せんぶく
「潜伏キリシタン考」
こう よしなが
吉永 友愛
ともなり
(長崎県長崎市)



今後のファイザー社製ワクチンの供給見通し

区分		希望量	供給量	回数	備考	
高齢者分として供給	4月分	第1クール				
		第2クール	1	1	975	
		第3クール				
	5月分	第4クール	4	4	3,900	
		第5クール	12	12	12,480	
		第6クール	14	14	16,380	
	6月分	第7クール	16	16	18,720	
		第8クール	17	17	19,890	
計		64	64	72,345		
一般分として供給	7月分	第9クール	7	7	8,190	
		第10クール	25	5	5,850	
	8月分	第11クール	25	7	8,190	
		第12クール	23	8	9,360	
	9月分	第13クール		6	7,020	実績を踏まえた推計値
		第14クール		6	7,020	実績を踏まえた推計値
	計		80	39	45,630	
合計			103	117,975		

ファイザー社製ワクチン第12～14クールの配分スケジュール

		納入数決定	納入日決定	配送予定
8月	第12クール	7月28日	8月4日	8月16日～29日
9月	第13クール	8月10日	8月17日	8月30日～9月12日
	第14クール	8月24日	8月31日	9月13日～9月26日

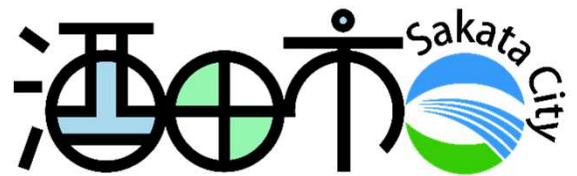
酒田市 新型コロナワクチン接種計画（案）

令和3年7月29日現在

期日		集団接種（平田会場）		個別接種	
		1回目	2回目		
8月1日	日	㊦-1	2,250	<p>【9月以降の個別接種】 現在、医療機関毎の予約状況等を踏まえて、一定の配送上限枠を設けるとともに、59歳以下で基礎疾患のない方への接種は、当面見合わせていただくようお願いしています。 第12クールで示されたワクチン量及び各医療機関の状況等を踏まえて、酒田地区医師会十全堂と配送量を調整します。</p>	
8月4日	水	①-1	1,000		
8月5日	木	②-1	1,000		
8月7日	土	㊦-1	2,250		
8月11日	水	中止			
8月12日	木	中止			
8月14日	土	中止			
8月15日	日	中止			
8月18日	水	中止			
8月19日	木	中止			
8月21日	土	中止			
8月22日	日		㊦-2		2,250
8月25日	水		①-2		1,000
8月26日	木		②-2		1,000
8月28日	土		㊦-2		2,250
8月29日	日	中止			
9月1日	水	未定			<p>【9月以降の集団接種】 第12クールで示されたワクチン量を踏まえて、酒田地区医師会十全堂や地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構などと調整を進めます。 予約再開期日等が決まり次第、市広報、市ホームページ、ライン等でお知らせします。</p>
9月2日	木	未定			
9月4日	土	未定			
9月5日	日	未定			
9月8日	水	未定			
9月9日	木	未定			
9月11日	土	未定			
9月12日	日	未定			
9月15日	水	未定			
9月16日	木	未定			
9月18日	土	未定			
9月19日	日	未定			
9月22日	水	未定			
9月23日	木	未定			
9月25日	土	未定			
9月26日	日	未定			
9月29日	水	未定			
9月30日	木	未定			
10月2日	土	未定			

期日		集団接種（平田会場）		個別接種
		1回目	2回目	
10月3日	日	未定		
10月6日	水	未定		
10月7日	木	未定		
10月9日	土	未定		
10月10日	日	未定		
10月13日	水	未定		
10月14日	木	未定		
10月16日	土	未定		
10月17日	日	未定		
10月20日	水	未定		
10月21日	木	未定		
10月23日	土	未定		
10月24日	日	未定		
10月27日	水	未定		
10月28日	木	未定		
10月30日	土	未定		
10月31日	日	未定		
11月3日	水	未定		
11月4日	木	未定		
11月6日	土	未定		
11月7日	日	未定		
11月10日	水	未定		
11月11日	木	未定		
11月13日	土	未定		
11月14日	日	未定		
11月17日	水	未定		
11月18日	木	未定		
11月20日	土	未定		
11月21日	日	未定		
11月24日	水	未定		
11月25日	木	未定		
11月27日	土	未定		
11月28日	日	未定		
計		6,500	6,500	

酒田市内での商売の
発展を支援します！



酒田市商工業振興資金融資制度

店舗改装資金（中心市街地のみ無利子貸付）

融資対象者	小売業、飲食業及びサービス業を営む営業実績1年以上の中小事業者 ※旧酒田市中心市街地活性化基本計画に定めた中心市街地区域内(裏面参照)に位置する店舗が利用する場合に、市が利子補給を行います。
資金使途	店舗の改装、隣接する駐車場の整備等の設備資金
貸付限度額	1,000万円以内（改装に伴う備品も含む）
貸付期間	7年以内（据置期間は1年以内）
貸付利率	年1.24%（中心市街地の店舗は0%で利用できます）

- ・中心市街地区域内でかつ商店街振興組合法による商店街振興組合の区域内にある空き店舗等を活用し開業する者若しくは当該店舗等を所有する者についてのみ、1年以上の事業実績を必要としない。
- ・本資金の対象店舗の設置場所については、市内に限る。
- ・旧酒田市中心市街地活性化基本計画に定める中心市街地区域についてはチラシ裏面を参照。

環境整備資金

融資対象者	同一事業の営業実績が1年以上、従業員5人以上の中小企業者
資金使途	福利厚生施設（※）を整備するための設備資金
貸付限度額	1,000万円以内
貸付期間	7年以内（据置期間は1年以内）
貸付利率	年0.95%

※福利厚生施設の例

休憩室、浴室、更衣室、洗面所、便所、診療室、体育施設、娯楽室、図書室、社宅、寄宿舍、食堂、調理室、保育室、託児室、授乳室、事務所、工場、その他従業員の福利厚生を促進する施設、設備、備品で市長が特に認めたもの



お問い合わせ及び申請先

〒998-8540（住所不要）酒田市商工港湾課 Tel : 0234-26-5361 Fax : 0234-22-3910 E-mail:kigyo@city.sakata.lg.jp

申込から融資まで

下記の金融機関の窓口で、融資制度の利用を相談してください。

①ご相談

「お申込窓口」

荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行、北都銀行、鶴岡信用金庫、
商工組合中央金庫酒田支店

②市への申請

認定申請書に必要な書類を添えて、市に申し込みます。

③市の認定

市が書類審査を行い、融資対象となる場合は認定書を交付します。

④金融機関への 書類提出

認定書と金融機関の必要とする書類を提出してください。
信用保証協会を利用する場合は、併せて関係書類が必要となります。

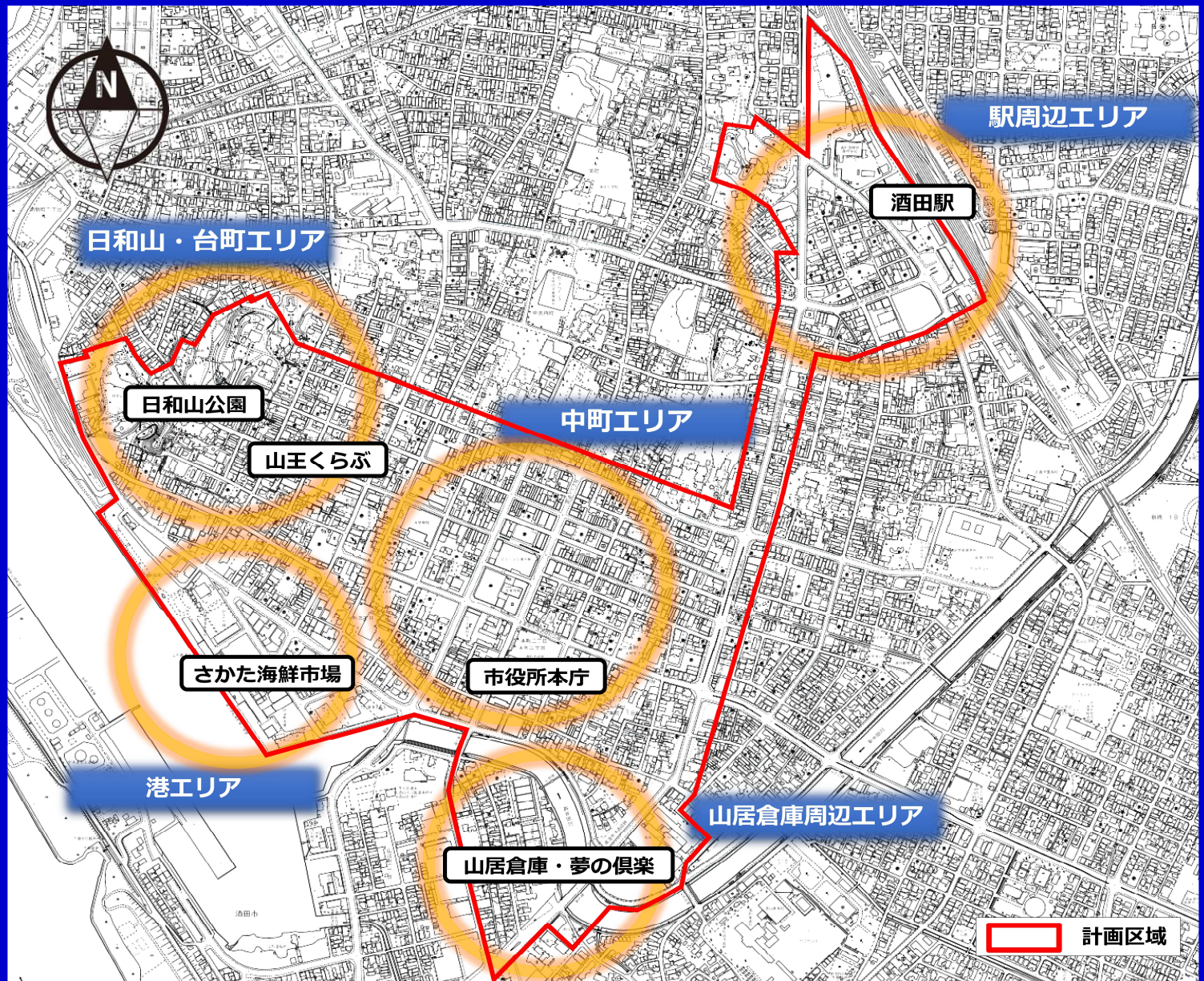
⑤融資の実行

金融機関より融資を受けてください。

備考

- ・担保、保証人については、金融機関で定めます。
- ・信用保証協会を利用する場合は、**市が保証料の一部を補給します。**
- ・返済方法は元金均等月賦払いです

旧酒田市中心市街地活性化基本計画に定める中心市街地



令和3年7月29日

酒田記者クラブ加盟社 各位

カーボンニュートラルシンポジウム 形態を一部変更して開催します

8月2日(月)に酒田市民会館「希望ホール」で開催予定の「カーボンニュートラルシンポジウム」について、基調講演及びパネルディスカッションの形態を一部変更して開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

○経済産業副大臣 江島 潔 氏については、東京における緊急事態宣言発令に伴い、リモートによる参加に変更いたします。

「※」変更箇所

○日時／8月2日(月) 午後1時30分～午後4時30分

○場所／希望ホール(酒田市本町2丁目2-10)

○定員／400名

○内容／

1 基調講演【※リモートによる講演に変更】

「2050年カーボンニュートラルに向けた国内外の動向について」

講師：経済産業副大臣 江島 潔 氏

2 特別講演

「酒田から海を越えろ！～カーボンニュートラル・ビジネスの大航海～」

講師：有限責任あずさ監査法人

金融統括事業部兼サステナブルバリュー本部 公認会計士

テクニカル・ディレクター 加藤 俊治 氏

3 パネルディスカッション

パネリスト：江島 潔 氏(経済産業副大臣)【※リモートによる出席に変更】

杉澤 栄一 氏(山形県環境エネルギー部 部長)

外山 義信 氏(東北エプソン株式会社 代表取締役社長)

加藤 聡 氏(加藤総業株式会社 代表取締役社長)

ファシリテーター：酒田市副市長 矢口 明子

●お問い合わせ／

商工港湾課企業立地・産業振興係(サンロク) 安川、辻村、飯野

Tel 26-6066、FAX 26-6068 Eメール shoko@city.sakata.lg.jp